

経済国防

長谷川 慶太郎

{ パナマ運河の拡張計画で海の物流が激変する }

全長80km年間15000隻貨物量は3倍になる輸送コストが劇的に下がるために企業収益・コストに反映、ニカラグアでも2019年完成の運河278km（世界最長）スエズ運河も拡張予定、既存と並行して72km新設する

{ アメリカの鉄道は改修期 }

80キロレールを製造できる世界でもたった2社の日本勢「新日鉄住金」「TFEスチール」揺れが少なく乗り心地が良いだけでなく、重量貨物の大量輸送を実現するため取り合いの状態

海外の地下鉄でも日本のビジネスチャンスが広がっている、ジャカルタ・ベトナム・アメリカ・イギリス・中国・・・

イギリスの高速鉄道向け車両を日立製作所が866両受注、27年間の保守契約も！

リニアは9兆円の巨大投資且つ大量の電気を使い、電磁波の影響も解決されていないし、高い利用料金も問題、格安の航空便LCCで全国の地方空港活性化に注力すべき

{ 石油化学の時代は終わり、ガス化学の時代に }

～作業と輸送コストが格安、着々と進行しているアメリカのシェールガス開発、LNG（液化天然ガス）現状はガスのままパイプラインでアメリカ・ロシア・ヨーロッパでは運ばれているが液化すると体積を6～700分の一迄圧縮し、ここに於けるコスト減の技術もまた日本が突出している

{ フランスで開催された「ユーロサトリ」武器見本市 }

58ヶ国1500社出展、日本担当ブースが初めて出来た、日立製作所他12社、日本の技術は非常に高いものがあり、三菱重工が戦闘機・戦車、川崎重工・三井造船が潜水艦・ヘリ・航空機、三菱電機・日本電気が通信システム、IHIが護衛艦・・・

{ 中国のシャドーバンキング破綻は国家崩壊につながる }

～取引規模2012年350兆円3万社、内一割3000社は普通銀行で生き残り残りは潰す習近平の政策2013年末～

その結果は3000社以上あった造船所の2000社以上が倒産、造船の発注先が日本へ

{ 中国政府は自国を守るために北朝鮮を見捨てた }

中国崩壊は日本に計り知れない影響を与える、まさかと言われたソ連はベルリンの壁崩壊から2年で69年続いた体制が崩壊！

中華人民共和国も成立して66年、人民解放軍は中国の資本主義化路線に反発している！

共産党と人民軍は「対立している」ということを基本的認識に、シャドーバンキングの多くの経営者は人民解放軍の幹部であった、習近平はシャドーバンキングを利用して軍部を掌握した、その結果、北朝鮮に関する決定権は人民解放軍から習近平に移行した、北朝鮮のナンバー2 張成沢が国家転覆罪で処刑は北朝鮮の習近平に対する恭順を示すもの、張成沢は人民解放軍と北朝鮮の関係を取り仕切る責任者であった、中国にとって北朝鮮はお荷物であったから～北朝鮮より足元のすでに崩れかかっている国内経済の崩壊を食い止めるためには北朝鮮を見捨てざるを得ない

3つの50万トン～中国は北朝鮮に対して50万トンずつの原油・石炭・穀物を援助するという契約がある、2014に入って北朝鮮への鉄道車両は25%、トラックは30%減少と大幅に縮小している

ベルリン崩壊からソ連の崩壊まで2年だった、今は北朝鮮支援を続けても崩壊は止められない、むしろ危険が増すだけだとの判断で習近平はソ連の二の舞はしない、必ず2年で立て直す意思を持っているだろう

中国の大気汚染は中国崩壊の切っ掛けになりかねない、在留邦人だけでなく欧米の駐在員の数が上海・北京で減少している

中国の水不足も重大なことで使いすぎが原因、民間人にとって飲料水が深刻な問題、経済成長優先の咎で人民解放軍がトラックで飲料水を運搬している地域も・・・

アジア地域への進出は「水」「下請け」が大問題～鉄鋼1トン作るために340トンもの水が必要であり、その水の確保が大変～新日鉄住金では世界一水を節約している！必要な340トンの水の内、新しい水は3トンのみで残りは排水の再利用を高度な技術で再生！

{ G20 2014年10月9日・10日ワシントンで開かれた }

ここに集まった各国の中央銀行総裁の間に「中国は危ない」という空気が急速に広まり、総裁のささやきが、アメリカ・ヨーロッパ・日本の株価下落の結果をもたらした